

衆院強行採決 絶対阻止！

6.15国会デモへ！

憲法学者とどうして疑義

「安保法案9条違反」

衆院憲法審査会の参考人質疑に招かれた憲法学者三人が、他国を武力で守る集団的自衛権を行使できるようにする安全保障関連法は憲法違反との見解を述べて表明した。法案を審議している衆院特別委員会では「行で可能となる具体例など」が焦点になっている。行使を認めること自体を否定され、法の根拠が揺らいだ。（わはるか、新聞記事）

衆院憲法審査会での参考人の意見

長谷部健男氏 (はせべ けんお) 早稲田大学法学 学院教授 東大卒 自民、公明、 次世代推薦	小林 節氏 (こばやし せつ) 慶応大学名誉 教授 慶応大卒 民主推薦	笹田崇司氏 (ささだ せいし) 早稲田大学政治 経済学院教授 九州大卒 維新推薦
---	---	--

集団的自衛権の行使に対する評価

憲法 従来の政府見 解の論理がつか ない。法的な 安全性を大きく 揺るがす	憲法 憲法9条2項で 日本には軍隊と 交戦権が与えら れていない。海 外で軍事活動 する道義と法的 責任が与えられ ていない。	憲法 内閣法制局と自 民党政権がつか り合っているこ ろで合憲性を 争うべきだった。 今回は弱みを見 せた。
---	--	--

の憲法をどう解釈するか
（発表）
主権、国民主権、
憲法にかなう。9条に
かなう。9条にかな
う。9条にかなう。

憲法学者の「違憲」表明で安倍はグラグラ

6月4日に行われた衆院憲法審査会で、参考人質疑に招かれた憲法学者3人全員が「安保関連法案は憲法違反」と明言しました。与党が推薦する参考人が、政府提出法案に反対を唱えることは極めて異例です。

6・15国会デモの大爆発で、衆院強行採決は阻止できる！
安倍政権を学生の怒りで包囲しよう！

ウソとペテンで「武力行使」を正当化

5月26日の衆院平和安全法制特別委員会での審議開始以来、安倍政権の危機と矛盾が一気に噴出していきます。安倍や防衛相・中谷元は、次々とボロを出し始めています。

安倍は集団的自衛権に関して、「一般には許されない」と言いつつ、「例外」として行使できる場合があるというペテンを繰り返しています。しかも安倍は、その「例外」として、

戦争法案粉碎！ 安倍たおせ！

《6・15国会包囲大闘争》

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 6月15日(月) 9時～ | 議員会館前で座り込み開始 |
| 12時～13時 | 霞ヶ関デモ(11時45分に日比谷公園霞門集合) |
| 15時半～16時 | 文部科学省へ申し入れ行動 |
| 16時半～17時半 | 議員会館前で国会への抗議集会 |
| 18時半～ | 全国学生集会(参議院議員会館101号室) |



全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

「ホルムズ海峡での機雷掃海」「米艦防護」に加え、新たに他国のミサイル基地に先制攻撃を加える「敵基地攻撃」まで「法理上はありうる」と明言しました。武力行使が際限なく拡大していくことは明らかです。

デタラメな国会答弁を続ける安倍に対し、野党は「リスクがあってもそれを超える(法整備の)必要性を強調するのが政府の責任だ」(民主党・岡田克也)、「素直にリスクを認め、国民の理解を得るべきだ」(維新・柿沢未途)などと、むしろ安倍の戦争法を後押しする態度に終始しています。

今こそ腐りきった「おしゃべり小屋」と化した国会に対し、学生の怒りを叩きつける時です！

自衛隊員に「死」を強制する安倍たおそう！

まず、審議が始まる前の22日、これまで安倍が明言を避けてきた「自衛隊員が死亡するリスクの増大」について、中谷が記者会見で「隊員のリスクが増大することはない」と断言。これを野党に追及された中谷は、「(後方支援は)戦闘行為が発生しないと見込まれる場所を実施するから安全だ」と答弁しました。しかし、そんな「見込み」など現実の戦争では何の意味ももちません。むしろ、「後方支援」=補給・兵站(へいたん)を担う部隊は軍全体の生命線であり、攻撃を受けることは不可避となるのです。そしてひとたび戦闘が始まれば撤退など許されないことは軍事の常識です。

そもそも安保法制は、自衛隊が最前線で武力行使を行うことも可能とする恐るべき戦争法であり、流血と死の戦場で殺し合いをさせられる自衛隊は「リスク増大」どころか確実に大量の戦死者を出すことになるのです。自衛隊兵士や家族を含む巨万の人びとの怒りの爆発は不可避です。

マスメディアでは、「官邸が想定する強行採決タイムリミットは6月19日」(NEWSポストセブン)と報道されています。6・15を「戦争を止める転換点」にしよう！

韓国ではバクネ政権打倒のゼネストが巻き起こっています。全世界で「生きさせろ！」の労働者・学生の怒りが爆発しています。国境を越えた労働者・学生の団結こそが、戦争を止める力です。すべての学生は、6・15国会包囲大闘争に立ち上がろう！

6・12法政大包囲デモ

6月12日(金) 12時40分～ 13時出発
@法大市ヶ谷キャンパス外濠校舎前集合



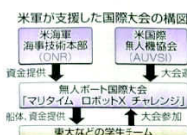
全国学生が結集した4・28国会デモ

東大の軍事研究許すな！

学生を戦争に動員する軍事研究

東京新聞(6月3日付)の記事で、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が、米海軍が資金提供して開催された無人ボートの技術を競う国際大会に、800万円の資金援助を受けて参加していたことが明らかになりました。米海軍海軍技術本部は、「軍の将来を担う科学者やエンジニアを、投資した学生の中から採用することも視野に入れている」と、学生の戦争動員の狙いをあけすけにかたっています。

米軍支援の大会に3大学



米軍が支援した国際大会の構造
米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。この大会は、無人ボートの技術開発を競うもので、米海軍が資金提供している。大会は、米国際無人機協会(AUVSI)が主催し、米国防総省(DoD)が支援している。大会は、米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。

米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。この大会は、無人ボートの技術開発を競うもので、米海軍が資金提供している。大会は、米国際無人機協会(AUVSI)が主催し、米国防総省(DoD)が支援している。大会は、米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。

米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。この大会は、無人ボートの技術開発を競うもので、米海軍が資金提供している。大会は、米国際無人機協会(AUVSI)が主催し、米国防総省(DoD)が支援している。大会は、米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。

米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。この大会は、無人ボートの技術開発を競うもので、米海軍が資金提供している。大会は、米国際無人機協会(AUVSI)が主催し、米国防総省(DoD)が支援している。大会は、米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。

「軍事研究は全学生の問題だ！」法大生の怒りのアピール

東大の軍事研究は驚きと同時に普段はなかなか怒らない僕でも怒りを覚えました。。経済的徴兵制についても、奨学金を借りている僕の友達も「詐欺だ」と話しています。人を殺す兵器を作るか、人を殺すために戦場に行くか。僕はどちらの選択もしたくありません。大学が研究すべきことはもっと他にあるはず。子どもたちに希望をつくり、高齢者や障害を持った人々が安心して暮らせる社会をつくるために大学があるのではないのでしょうか。その大学が軍事研究でお金集めをすることはとても恥ずべきことだと思います。。諦めず、力を合わせて頑張りましょう。

軍を担う学生採用視野

米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。この大会は、無人ボートの技術開発を競うもので、米海軍が資金提供している。大会は、米国際無人機協会(AUVSI)が主催し、米国防総省(DoD)が支援している。大会は、米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。

軍事研究禁止の東大黙認

米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。この大会は、無人ボートの技術開発を競うもので、米海軍が資金提供している。大会は、米国際無人機協会(AUVSI)が主催し、米国防総省(DoD)が支援している。大会は、米海軍海軍技術本部(ONR)が資金提供し、米国際無人機協会(AUVSI)が主催する「マリタイムX ロボットX チャレンジ」の国際大会に、東京大学・東京工業大学・大阪大学の3大学が参加している。

無人ボート開発各800万円相当提供

6月3日付(東京新聞)